

はははのはなし

加古里子 文・絵



福音館書店 1972年 838円

みんな笑っているのにひとりだけ泣いている子がいます。歯が痛くて泣いているのです。どうして、虫歯はできるのでしょうか。虫歯の防ぎ方、丈夫な歯の作り方などを子どもにわかりやすく、楽しく具体的に説明します。歯の大切さを、素朴な絵と話しかけるような口調で語った、親しみやすい科学絵本です。

ピーターのいす

エズラ=ジャック=キーツ 作

きじまはじめ 訳

偕成社 1977年(初版1969年) 1200円



ピーターに妹ができ、ピーターのゆりかごや赤ちゃんベッドは、どんどんピンク色に塗り替えられてしまいました。おもしろくないピーターは、まだ青色のままのいすを持って家出をしますが、自分がそのいすにすわれなくなるくらい大きくなっているのに気づきます。そしてピーターは、妹のためにいすをピンク色に塗り替えることにしました。ピーターの心の成長がコラージュの手法の絵で見事に描かれています。シリーズは「ピーターのとがみ」などがあります。

ピーターラビットのおはなし

ビアトリクス・ポター 作・絵

いしいももこ 訳



福音館書店 2002年(初版1971年) 700円

こうさぎのピーターはいたずらっこです。ある日、お母さんの言いつけを破って、マクレガーさんの畑にもぐり込みましたが、マクレガーさんにでくわしてしまいませう。大人のとてのひらにおさまるほどの小さな絵本です。1902年にイギリスで出版されて以来、100年以上子どもたちに愛され続けています。イギリスの田園を舞台に小さなドラマが写実的で柔らかな色調の水彩画で描かれています。シリーズは「ベンジャミンバニーのおはなし」などがあります。